

高雄だより 臨時特別号



令和3年3月
京都市立高雄小学校
校長 坪内 昌子

春寒もようやく和らぎ、過ごしやすい季節となってまいりました。日頃、本校の学校教育にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。令和2年度後期の学校評価の集計結果をお知らせいたします。

●確かな学力について

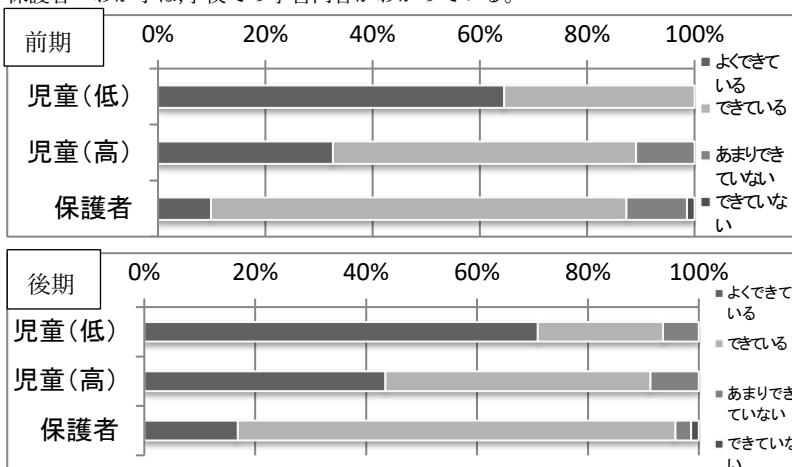
高雄小学校では、学力向上を目指して学級会活動を核とした話し合い活動の充実に取り組み、専科教員による授業を実施しています。前期の結果を受け、さらなる授業の改善や個に応じた指導の充実に取り組みました。

質問1 学校での授業について

低学年…わたしは、べんきょうしていることがわかっています。

高学年…私は、学校の授業がわかっています。

保護者…わが子は、学校での学習内容がわかっている。



前期のアンケート結果と比べて報告いたします。

後期では、「よくできている」と回答した児童が低学年で71%、高学年で43%でした。この結果は、前期の低学年65%、高学年33%から改善しており、学習内容を理解し自信をもって学習に取り組む児童が増えたととらえられます。学習への自信は、これから学習意欲にもつながるため、喜ばしい結果です。

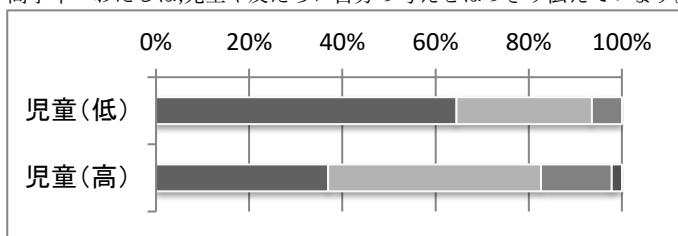
しかし、「あまりできていない」と回答した児童が低学年で6%、高学年で9%でした。児童の学習のつまづきを早期にとらえ、困りに寄り添う事はもちろん、帯時間などを使った個に応じた指導にも力を入れて改善を図っていきます。

質問3 対話的な学びについて

本校では、特別活動（学級会の話し合い活動）に力を入れています。また、新学習指導要領では、「対話的な学び」を重視しています。前期の結果を受け、すべての児童が友だちとの対話によって、考えを広げたり深めたりする学習場面を授業に設定することを心がけてまいりました。

低学年…わたしは、せんせいやともだちに、じぶんのかんがえをはっきりはなしています。

高学年…わたしは、先生や友だちに自分の考えをはっきり伝えています。



高学年児童の「話せていない」と回答した児童が前期28.3%から15.2%と改善しています。本校が進めている特別活動（学級会の話し合い活動）等での取組や一人一人を大切にした授業づくりが効果を上げています。しかし、低学年で6%、高学年で15%の児童が「できていない」と回答しているため、これからも引き続き一人一人を大切にした対話的な学びの充実に向けての取組を進めています。

質問4 家庭学習について

本校では、自学自習の習慣化に向けて家庭学習を重視しています。3年生以上は宿題に加えて毎日の自主学習に取り組んできました。

	前期				後期			
	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
低学年 わたしは、しゅくだいをわすれずにしています。	68%	26%	6%	0%	68%	29%	0%	3%
高学年 わたしは、宿題や明日のじゅんびを自分からしています。	65%	26%	7%	2%	74%	20%	7%	0%
高学年 わたしは、自主学習に取り組んでいます。	35%	35%	24%	7%	43%	37%	17%	2%

前期に比べ低学年、高学年共に家庭学習の習慣が改善しています。新型コロナウィルス感染症拡大防止に伴う休校から、授業が始まり、ようやく学校と家庭両方での学習が習慣として身についてきたようです。

しかし、現在も家庭学習の習慣がついていない児童には、目的意識をもって学習に取り組めるよう個別に声をかけていきます。

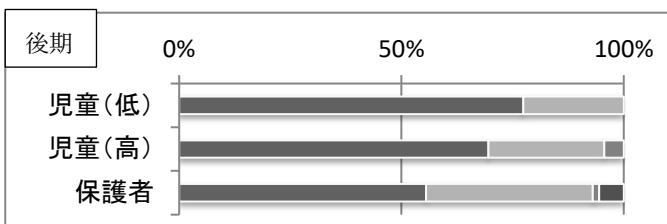
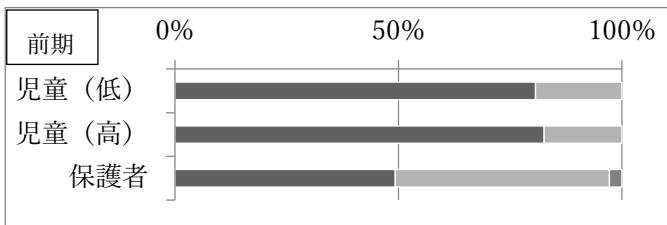
●豊かな心について

子どもたちが友だちとの良好な関わりを通して、楽しい学校生活を送れるよう、日常的な指導を大切にしています。

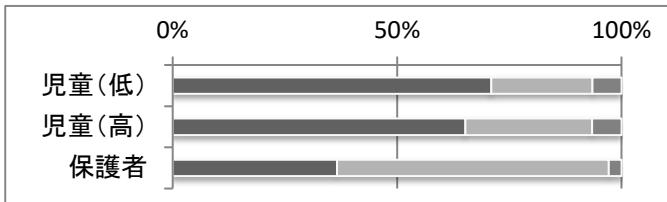
質問1 学校で楽しく過ごしているか

低学年…わたしは、がっこうでいつもたのしくすごしています。高学年…私は、学校でいつも楽しく過ごしています。

保護者…わが子は、楽しく学校に通っている。



質問2 友達と仲良くすごせているか



「学校で楽しくすごしているか」では、前期、低学年・高学年共に100%の児童が「楽しくすごせている」と回答しました。後期でも、低学年は、100%，高学年は、96%の児童が「楽しく過ごせている」と回答しており、楽しく充実した学校生活を送っていることがわかります。

しかし、後期になり、高学年では、4%の児童が「あまりできていない」と回答しています。また保護者の回答においても「あまりできていない」「できていない」が7%ありました。この結果と、質問2「友達と仲良くすごせているか」の結果から子どもたちの、学校を楽しいと思う要素には、学校での友達関係が大きく関係していると考えられます。

今年度、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学年を越えて関わり合うことのできる行事や学級での活動も大きく制限されました。

しかし、このような状況でも、子どもたちは活動の仕方を工夫して学級での活動に取り組み子どもたち同士のつながりを深めてきました。日々の授業や、生活の中で、子どもたち同士が一人一人を大切に過ごしていく様子が見られました。今後も、道徳教育の充実をはじめとして日々の指導を進めたいと思います。

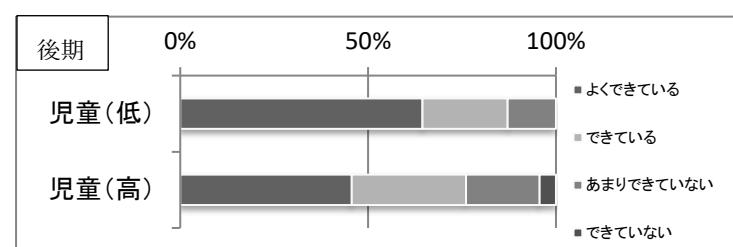
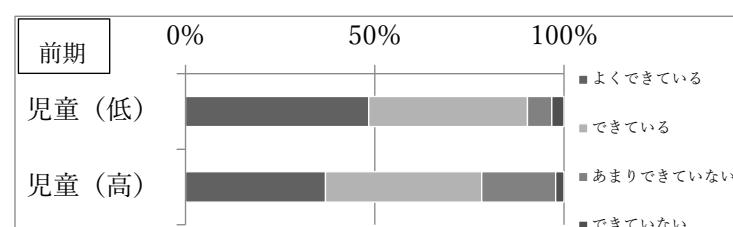
●健やかな体について

今年度、特に毎日の健康管理については、その大切さを改めて感じました。前期のアンケート結果から生活リズムの乱れなどの課題が見つかりました。後期では次のような結果が出ました。

質問1 早寝早起き朝ごはんについて

低学年…わたしは、はやねはや起きをしてあさごはんをたべています。

高学年…私は、早寝早起きをして朝ご飯を食べています。



前期に比べ、低学年では、「よくできている」と回答した児童が増えています。しかし、「あまりできなかった」「できなかった」と回答した児童が低学年では13%から24%。高学年では11%から22%と増加しています。今後、低学年での習慣が改善されないまま高学年になることも考えられ、低学年でのよい生活習慣の確立に向けて保健指導などを行っていきたいと思います。また、高学年では、保健や家庭科の学習や学級指導を通して自らが自分の生活を振り返り見通しをもって生活を改善できる力を育成したいと考えています。

前期のアンケート結果から改善された項目もありましたが、課題も見られる結果となりました。

これらの結果をもとに、学校教育目標である「仲間とともに 高め合い たくましく生きる子」の育成に向けて、これからも教育活動を進めてまいります。ご協力ありがとうございました。